

【選 評】

<調和体>

総 評

>選々位

磨かれた線や構成が多く、層の厚さを感じました。

>師範

多くの作品に個々の表現が見えて、頼もしく感じるクラスとなりました。

>準師範以下

若干、点数減はあるものの各人の工夫や努力に敬意を感じます。

<日常書>

総 評

- ・「博」の点の付け忘れがあったのが残念です。
- ・2文字と3文字の書く場所に気をつけましょう。
- ・紙の種類も作品に影響します。
(仮名の紙は不向きかも)

最優秀作品

◇水田 柴華

重厚な線が書の広がりを表現して素晴らしい。

◇西川 芦雪

カスレ美が魅力的な作品。

◇松宮 孝明

全体の流れ、線の動き共に良い。

◇齊藤 翠真

構成と余白が美しい。

◇山田 華生

配字、線質とも群を抜いた作品です。

◇久保 貞邦

確実な運筆と構成が素晴らしい。

最優秀作品

◇中川 秀子

全体においてバランスが良かった。
(太さ、書く位置、伸び、墨の量・・・)

<審査員>

西川桂邨 北川幾美 一井亨泉 駒井高樹 小川敬子 饗庭啓良 鈴木天雷

<お知らせ>

・選々位の皆さんにつきましては、格付けの関係もあり、半紙と条幅の両方の提出をお願いします。

・3月号は「臨書、短歌・短文」の提出月で、締切りは3月27日です。